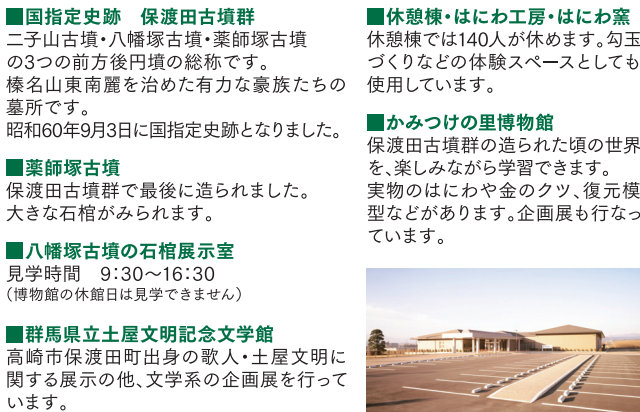
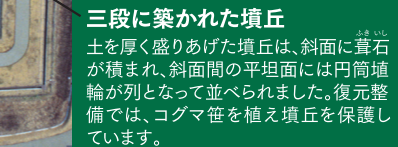
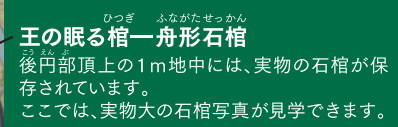
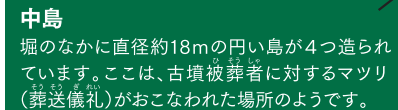
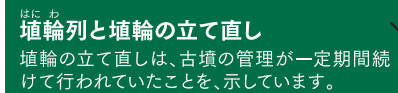


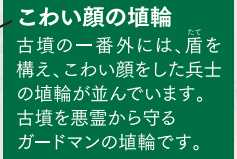
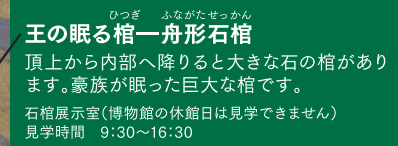
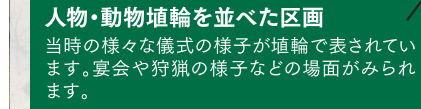
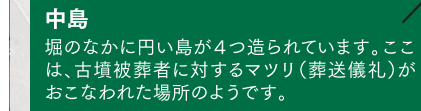
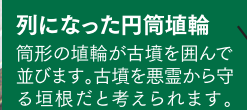
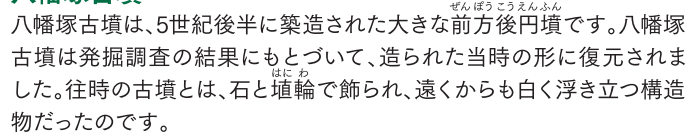
当館の周囲は大きな公園となっています。古墳時代の群馬県地域が上毛野と呼ばれたことにちなんだネーミングです。博物館や文学館、二子山古墳、八幡塚古墳、はにわ工房など見どころいっぱいです。休憩棟や駐車場も整備されています。



榛名山東南麓の開野川上流域にある、3基の前方後円墳の総称です。それらは、5世紀後半から6世紀初頭にかけて、二子山古墳→八幡塚古墳→薬師塚古墳の順で造られました。当時の東日本において、きわめて優勢であった豪族たちの墓所として、国指定史跡に指定されています。



本古墳群のなかで最初の、5世紀第3四半期ごろに築造されました。昭和5年、帝室博物館（現東京国立博物館）の後藤守一が初めて発掘し、内堤から埴輪片などを発見しています。平成15～17年には史跡整備の調査を行い、朝鮮半島製を含む多量の遺物が見つかりました。



かみつけの里博物館
The Kamitsukeno-sato Museum of Archaeology



The Kamitsukeno-sato Museum of Archaeology



- ①よみがえる5世紀／榛名山東南麓古墳社会推定復元模型
- ②王の館を探る／三ツ寺I遺跡推定復元模型
- ③王の姿を探る
- ④王の墓を探る／八幡塚古墳築造時推定復元模型
- ⑤広がる小区画水田／芦田貝戸山遺跡水田復元模型
- ⑥火山灰に埋もれたムラ／榛名山東南麓の古墳時代モデルムラ
- ⑦海の向こうからきた人たち／下芝谷ツ古墳
- ⑧埴輪に秘められた物語／保渡田VII遺跡出土形象埴輪群
- ⑨埴輪の人・動物・もの／埴輪ギャラリー

5世紀末から6世紀前半にかけて、2度にわたる榛名山の火山災害に襲われた榛名山東南麓には、東日本でも有数の勢力を誇った王の本拠地がありました。これまでの発掘調査により、王が政治や祭祀を行なった巨大な館(三ツ寺I遺跡)、王族が眠る大型の前方後円墳(保渡田古墳群)、王の配下たちが葬られた小古墳群、王と民の経済を支えた水田や畑、人々の暮らしたムラ、技術を携えて朝鮮半島からやってきた渡来人のムラや墓など、当時の社会要素のほとんどが揃って発見されています。まさにこの地域は考古学上の重要地域といえます。常設展示室ではこの1500年前の世界を、考古学者たちの研究成果をもとに復元した模型や歴史の重みを秘めている出土品などで再現していきます。また、三ツ寺I遺跡の王が日本の中で、東アジアの中でどのようなポジションにあったのかを考えていきます。



常設展示室は以下の9コーナーで構成しています。

■1 よみがえる5世紀

このコーナーでは、5世紀の社会景観を復元した「榛名山東南麓古墳社会推定復元模型」(縮尺=1/500)を中心に解説映像とあわせて展示室全体のガイダンスを行います。

■2 王の館(三ツ寺I遺跡)を探る

三ツ寺I遺跡は、日本で初めて発見された豪族の館。このコーナーは、館の復元模型(縮尺=1/100)と、出土した遺物群で構成しています。壁面に描かれた発掘調査図のポイントから王の館の内部状況を探っていきます。

■3 王の姿を探る

全国の5世紀の前方後円墳分布図、5テーマにわたる各種解説シートから展示を構成しています。古墳の動向と文献から、三ツ寺の王や上毛野地域が日本の中で、また東アジアの中でどのような位置を占めていたのか探っていきます。

■4 王の墓を探る

「八幡塚古墳の築造時推定復元模型」(縮尺=1/80)を中心に据え、古墳造りに携わった人々、数字でみた古墳造り、工程からみた古墳造りなどの視点から模型の理解を深めるように構成しています。当時の巨大古墳造りがどのように行われ、どのような人々が働いていたのかを通して、この時代の組織や技術体系を探っていきます。

■5 広がる小区画水田

火山災害で5世紀の地表が良好に保存されていたため、当時の大規模な農地の状況や田作り作業の詳細な情報が遺跡に残されました。ここでは、発掘データから復元した古墳時代の水田模型(縮尺=1/80)を中心に初夏の農作業のようすや技術体系を再現しています。

■6 火山灰に埋もれたムラ

火山灰にバックされた下芝遺跡群、黒井峯遺跡、中筋遺跡などの発掘データをもとに、典型的なムラの姿を模型(榛名山東南麓の古墳時代モデルムラ 縮尺=1/80)で再現。これに、竪穴住居、ムラの大祭祀の場をイメージした出土品の展示ステージを配置し、当時のムラの生活や祭祀、世帯の単位などを探っていきます。

■7 海の向こうからきた人たち

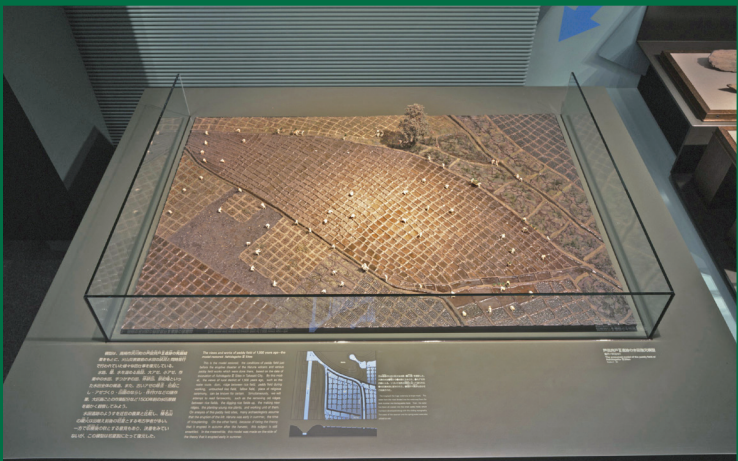
下芝谷ツ古墳から発見された日本最古の飾履(クツ)の展示を中心に、朝鮮半島の影響を受けた横石塚古墳の分布や様々な渡来系文化を紹介しています。

■8 埴輪に秘められた物語

保渡田VII遺跡から出土した埴輪群像を中心に、埴輪が物語るストーリーを映像で解説。王の埴輪を中心とする儀式的群像、狩人や猪の埴輪からなる狩猟群像などが、葬送や王位継承などの儀礼と当時の精神世界を表していることを紹介していきます。

■9 埴輪の人・動物・もの

種別ごとに埴輪を展示し、あわせて国内各地の事例を紹介しながら、埴輪が示す古墳時代の人々の実像を紹介するギャラリーです。



年間スケジュール

- 春〜夏 企画展(博物館収蔵品展、子ども向け展示など)
- 秋 かみつけの里古墳祭り、二子山古墳コスモス見ごろ
- 冬 特別展(古墳時代をテーマとした専門的な展示)
- その他 八幡塚古墳に並べる実物大円筒埴輪づくり(18歳以上)、まが玉、ミニ埴輪づくりなどの体験プログラムは不定期で募集しています。詳しくは博物館のホームページをご覧ください。



ミュージアムショップ

取り扱っているグッズは、すべて学芸員考案のオリジナルです。ここでしか買えない古墳グッズをお楽しみください。これまでの特別展図録、高崎市史、市内にある遺跡の発掘調査報告書も販売しています。



関連団体

友の会

月例歴史講座「かみつけ塾」を博物館と共催。研修旅行実施、会報「まほろば」の発行など

ボランティア会

体験学習の支援、古墳ガイド、八幡塚古墳の円筒埴輪づくりなど

王の儀式再現の会

かみつけの里古墳祭りでの、再現劇「王の儀式」の上演、衣装・小道具づくりなど



*3つの会は、随時会員募集中です。博物館までお問い合わせください。

利用案内

開館時間	9:30~17:00(入館は16:30まで)
休館日	毎週火曜日(祝日・振替休日の場合は翌日) 祝日の翌日(翌日が土・日曜日の場合は開館) 年末年始(12月28日~1月4日)
観覧料	一般 200円(160円) 高校生・大学生等 100円(80円) 65歳以上・中学生以下 無料 ※()内は20名以上の団体料金です。

お客様へのお願い

当博物館では、模型や展示物等のガラスケースをできるだけ取り扱い、皆様により良い学習の環境を提供できるよう、あえてオープン展示にしています。この展示の方針にご賛同いただき、展示物にはお手をふれず、ご観覧くださいますようお願いいたします。

交通のご案内

- 東京駅から上越新幹線JR高崎駅まで約60分
- JR高崎駅からタクシーで約30分
- JR高崎駅からバスで約30分(市内循環バスぐるりん大八木線・北高先回り・井出町西下車徒歩10分)(群馬バスしんとう温泉・榛東村役場行・秋葉前下車徒歩5分)
- JR前橋駅からバスで約30分
(関越交通バス土屋文明文学館行・かみつけの里博物館前下車すぐ)
- 関越自動車道 前橋ICから車で約15分



かみつけの里博物館

The Kamitsukeno-sato Museum of Archaeology
〒370-3534 群馬県高崎市井出町 1514
TEL: 027-373-8880(代表)
1514 ide-machi Takasaki-city Gunma 370-3534 JAPAN
e-mail: kamitsuke-museum@city.takasaki.gunma.jp

掲載内容は、令和8年5月現在の情報です。